

2023年12月12日

## アルヒフラット35被害弁護団 記者会見資料

アルヒフラット35被害弁護団

### 1 アルヒフランチャイズ店提訴の件

アルヒのフランチャイズ店舗を運営しているアルヒとフランチャイズ契約をしている会社7社に対し一斉に訴訟の提起

- (1) B S Cモーゲージバンク株式会社
- (2) 株式会社不動ローン&ファイナンス
- (3) ティー・ティーコーポレーション株式会社
- (4) 株式会社エッチ・アール・オー
- (5) コナン販売株式会社
- (6) 株式会社林事務所
- (7) S B I マネープラザ株式会社

被告従業員らの故意・過失  
使用者責任に基づく損害賠償請求

### 2 住宅金融支援機構からアルヒが、5つの債権を買戻しさせられた件

住宅金融支援機構が、アルヒに対し、5名の債務者について、債権の再売買の予約完結権の行使（住宅ローン債権売買基本契約の変更に関する契約証書22条3項に基づく。）及び支払保険金返還請求の行使（住宅融資保険契約証書別添「住宅融資保険約款(短期貸付用)」12条3号に基づく。）

- ・在籍確認及び借入意思確認のための、申込人への連絡について、住宅金融支援機構が指定する所定の方法・形式により実施していなかったことが判明したため。
- ・同一の物件について、異なる2種類の平面図を受領しながら、その事実について、申込人又は申込人から委任を受けた事業者の確認や説明を求めることなく、手続きを進めた事実が判明したため。

### 3 機構訴訟経過報告の件

- ・原告の主張
  - (1) 民法93条1項但書による金銭消費貸借契約の一部無効
  - (2) 一括返済請求は権利濫用
  
- ・被告の反論
  - 民法93条2項の「善意の第三者」
  
- ・補助参加の申立て
- ・機構が買戻しさせた債務者については機構がアルヒに対し訴訟引受の申立て
  
  
- ・本日新たに8名が訴訟へ参加

### 4 2022年9月に発生した不正融資案件の件

2022年9月にアルヒフラット35の不正融資を受けた債務者がいる  
住宅ローン不正利用検知システム「ARUHI ホークアイ2.0」(2021年5月より稼働)  
は何故不正の検知ができなかったのか

### 5 個人情報流出、紛失の件

- (1) 住宅金融支援機構による個人情報の流出
- (2) アルヒによる個人情報資料の紛失の疑い

以上